



3・4月に市内で行われたイベントについてお知らせします

今月の表紙

コムアイ厳選名画ニッコウ座



3月9日(金)、10日(土)、市
シティプロモーション推進室が日
光街道ニコニコ本陣で「コムアイ
厳選名画ニッコウ座」を開催しま
した。これは若者向けのプロモ
ーション活動として行われ、人気音
楽ユニット「水曜日のカンパネラ」
のボーカル、コムアイさんが厳選
した映画7作品が上映されました。
神奈川県から来場した中村さん
は、「日光に初めて来ました。古い
映像が逆に新鮮で美しかったです」
と話してくれました。
また、コムアイさんは「映画を
楽しんでもらいたい。現代人はい
ろいろと考えている人が多く、ス
トレスをためやすい。映画を見る
ことで体内の浄化をして欲しい」
と語ってくれました。
表紙は特製パネルの前でコムア
イさんに座ってもらったものです。



ファンと交流するコムアイさん(右)



激しくも神秘的な儀式



式の後行われた縁起がらまき



夜校の下、お囃子などを楽しむ来場者



開幕戦でのGSKの熱戦の様子

日光山輪王寺強飯式
4月2日(月)、日光山輪王寺で
強飯式が行われ、今年は平成の大
修理で建物内部が完成した本堂
「三仏堂」が6年ぶりに会場とな
りました。
この式の起源は、山伏が修行場
のご本尊に供えた御供を持ち帰
り、人々に分ち与えたことが始ま
りといわれています。
式は、修験者の姿をした山伏が
3升のご飯が入った山盛りのお椀

を強飯頂戴人に差し出し、「75杯
残さず頂戴しろ」と荒々しく責め
立てるもので、儀式を受けた強飯
頂戴人や参列した人々は、七難
即滅・七福即生や家運長久などの
運を授かると言われていました。
壬生町から訪れた高原さんは
「はじめて参列しましたが、想像
以上で、普通のお寺とは一味違っ
て、深い歴史を感じました」と話して
くれました。

鬼怒川温泉夜校大宴会
4月7日(土)～15日(日)、護国
神社で「鬼怒川温泉夜校大宴会
2018」が行われました。ソメイ
ヨシノがライトアップされた会場に
は、花見席にこたつが設置され、来
場者はお花見弁当や屋台のお汁粉、
モツ煮などを食べながら、お囃子
や芸妓の踊りを楽しみました。
8日(日)には、さくら並木通りで
「さくらまつり」が開催され、よさこ
いパレードなどで盛り上がりました。

高宮牌女子ホッケー日本リーグ
4月7日(土)、「高宮宮牌20
18ホッケー日本リーグ」が開幕
し、グラクソ・スミスクライン
(GSK)がホームの市ホッケー場
で山梨学院大と対戦しました。
0対0で迎えた第3クォーター
10分に、ペナルティコーナーから
小林葉月選手が先制ゴール。さら
に第4クォーター13分には落合
彩乃選手が追加点を決め、2対0
で開幕戦を勝利で飾りました。



※ジェンダー…社会的・文化的に形成された性別



お好みの栃木の地酒で乾杯!

男女共同参画社会づくりフォーラムin日光
3月10日(土)、今市文化会館で
平成29年度男女共同参画社会づく
りフォーラムin日光が開催されま
した。
日光観光大使、下司愉宇起氏の
歌唱で幕を開け、男女共同参画の
取り組みに積極的な事業者として
ヤックスフोट株式会社、株式会
社サンコー、金谷ホテル株式会
社が表彰を受けました。
また、「女性の活躍」応援プロ
ジェクト事業報告で、今市高等学
校生徒と、株式会社あさやホテル
の塩井容子氏が発表を行い、塩井
氏はキャリア・マネジメント講座
の受講で得られた成果について話
しました。
その後の講演会は、ジェンダー
専門家の大崎麻子氏が、国連での
活動の様子や、途上国の女性支援
の状況を紹介し、誰もが生きやす
い社会について話しました。

ツール・ド・とちぎ
3月23日(金)～25日(日)、県内
全域を舞台とする自転車国際公
認レース「第2回ツール・ド・と
ちぎ」が開催され、国内外15チ
ーム、89名の選手が熱戦を繰り広
げました。
2日目の24日(土)は、小山市を
スタートし、だいや川公園をコー
ルとする10.5kmのコースを競い
ました。選手たちの熱い走りに大
勢の観客たちが声援を送りました。

栃木の地酒まつり
4月1日(日)～7日(土)、栃木
の地酒まつりが鬼怒川・川治温泉
旅館協同組合で開催されました。
県内32の蔵元の地酒から、お好
みのものを選び、おちよこ一杯
100円で味わえる催しで、DC
特別企画として5・6月の1～7
日にも開催されます。市内からそ
れぞれまつりに来た3人の女性が
会場で意気投合。おいしい日本酒
と楽しい出会いに酔いしれました。

日光・藤原庁舎移転



3月20日(火)、日光・藤原両
行政センターの新庁舎落成式が行
われました。
御幸町に建設された日光庁舎
は、鉄骨2階建てで延べ床面積が
約2,120㎡。地場産木材をふんだ
んに使用し、「和み」をイメージ
したモダンな外観。1階に行政機
能の窓口と図書館が、2階は会議
室や視聴覚室などが配置されてい
ます。

一方、鬼怒川温泉駅近くに建設
された藤原庁舎は、鉄骨2階建て
で延べ床面積が約1,215㎡。温泉
街らしい「ぬくもり」のある外観
が特徴的。1階に行政機能の窓口、
2階は会議室や多目的室などが配
置されています。
両庁舎は、26日(月)に開庁し、
1階のワンフロアに集約した窓口
で、今まで以上に柔軟で効率的な
サービスを目指します。



式に花を添えた関白流三依獅子舞